

湖北圏域 水害・土砂災害に強い地域づくり協議会 第5回協議会 報告

日時：平成 23 年 8 月 30 日（火）14：00～16：30

場所：湖北合同庁舎 1階 第一会議室

本協議会は、湖北圏域の2市（長浜市・米原市）が国・県とともに、専門的な学識経験等に基づき助言を受けながら、姉川、高時川等の洪水被害や土石流危険渓流等からの流出土砂による被害を回避・軽減するための対策を協議し、自助・共助・公助のバランスのとれた地域防災力の再構築を図ることを目的としています。

1. 開 会

会長の中嶋副市長（長浜市）より、「近年は全国各地で人命被害をとまなう集中豪雨が発生しており、ハード整備に合わせてソフト面の対策を充実させていく必要がある。平常時から減災に対する検討を行っていくことの重要性は一層高まっており、本協議会を十分に活用し、活発な議論をお願いしたい。」との挨拶をいただきました。



2. 主な議事

■ 平成 22 年度の取り組み結果の報告と平成 23 年度の検討内容（案）

事務局説明

① きめ細かい河川防災情報の提供に関する検討

水位観測局と経験的危険箇所（地域の要パトロール箇所や流下能力が低い箇所等）との水位の関連づけや周知用看板、地区別避難判断基準の設定案について報告し、河川防災情報の継続整備、関連づけた水位関係の精度向上、市の課題を踏まえた避難判断基準の検討を提案しました。

② 水害に強い地域づくり計画の検討（長浜市 虎姫地区）

今後の具体的な活動内容を示した水害に強い地域づくり計画（素案 H23.3）について報告し、今後は、大井町の避難計画等、一定の成果が出た段階で、各集落に意見聴取しながら計画づくりを進めることを提案しました。

③ 地区別避難計画に関する検討（長浜市 大井町）

水害図上訓練で抽出された避難に関する大井町の課題（避難場所、切通し作業等）を報告し、抽出された課題の解決策を検討しながら、地区別避難計画の策定を進めることを提案しました。

④ 水害に強い地域づくり計画の検討（米原市 村居田地区）

地域住民とともに取り組んだ水害体験の聞き取り調査、現地調査、地盤高測量等の結果を報告し、今後は避難ルートを検討、まるごとまちごとハザードマップ等に取り組むことを提案しました。

⑤ 土砂災害に強い地域づくりに関する検討

長浜市湖北町山本地区および上草野地区で行った土砂災害ハザードマップの活用方策等について報告し、地区避難計画など次なるステップへ展開していくことや、同様の取り組みを他地区へ広げていくことを提案しました。

質疑応答・意見交換

各委員から様々な意見が出ました。以下に、主な意見を示します。

- ・ 虎姫地区では、浸水により避難できないが避難場所となっているところもある。市町合併に伴って避難所の見直しを検討することもいい。
- ・ 避難における歩行困難区域の評価は、2種類の評価方法による違いをどのように考えるのか十分に考えていただきたい。
- ・ 「避難が困難になる地域どこか。そのような場所は通常よりも早い判断が必要であり、いつ逃げればよいか。」が、分かるようにし、地域住民など使い手の立場に立った避難判断指標の検討をして頂きたい。
- ・ 水害に強い地域づくり計画は、地域の意見を踏まえ住民が実際に使えるようにしてほしい。
- ・ また、住民からの意見をまとめて、課題の整理には至っているが、次の段階として何を行っていくかという点を今後まとめていくと認識している。
- ・ 地区別避難計画の策定にあたっては、大井町の課題は何か、県や国にサポートしてもらいたいことは何かを市の観点から整理しておくに進めやすい。
- ・ また、県・市・地域住民の役割分担を行い、それぞれの課題を整理しておくが良い。
- ・ 土砂災害に強い地域づくりは、さらに次のステップとして、実際にどのようなことが出来るのかというオプションを作ることが大事である。SWOT分析における弱み、脅威の項目に重要な事が書かれている。これを活かして避難行動計画の検討を行うと良い。
- ・ 土砂災害は水害と違い、目で見て分かるような判断指標がないので、住民に適切に情報を提供していくため、住民への情報提供の発表ルールや生かし方を併せて伝えていければ良い。



結 果

これらの意見を踏まえつつ、下記のとおり実施していくことになりました。

- ① 避難判断支援資料は、引き続き水位関連付けなど河川防災情報を充実していくとともに、避難勧告等の情報発令を行う市が必要とする情報や抱えている課題を踏まえて検討する。
- ② 水害に強い地域づくり計画は、地域住民が実際に活用できるような計画とし、具体的に行動できるような計画づくりを進める。
- ③ 地区別避難計画は、県・市・地域住民の役割分担を行い、それぞれが抱える課題を踏まえて作成する。
- ④ 土砂災害に強い地域づくりは、情報提供の方法や活用方法を住民に伝えるとともに、次のステップに向けて地域の弱み等の課題を生かした避難行動計画の検討を行う。

3. 情報提供

米原市より「7月19日台風6号に伴う天野川の対応（避難勧告状況等）」、琵琶湖河川事務所より「平成23年7月新潟・福島豪雨に伴う大雨災害」および「局地的豪雨による被害軽減方策提言」について情報提供を行いました。

4. 閉 会

県長浜土木事務所の村井所長から、「近年、滋賀県では大きな災害が起こっていないこともあり、水害にそなえる意識が低下してきている。地域住民、市、県、国が連携・協力し、一体となって水害・土砂災害に強い地域づくりに取り組んでいきたい。」との閉会挨拶を行いました。